

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護過程IV Process Planning for Care Work IV		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護過程Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護過程Ⅲ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
石川 幸子	非常勤講師室	授業内でお伝えします		授業中に指示します
授業の概要				
「介護過程Ⅳ」では、「介護過程Ⅰ～Ⅲ」での学びをもとに、介護過程とケアマネジメントとの関連、チームアプローチの必要性について学習し、関連職種の役割およびチームにおける介護福祉士の役割について理解する。また、チームカンファレンスの意義および運営方法について学習する。				
授業の目標				
①介護におけるチームアプローチの必要性について、説明できるようにする。 ②介護過程とケアマネジメントとの関連について説明できるようにする。 ③チームアプローチにおける介護福祉士の役割について、具体的に説明できるようにする。 ④介護福祉に関する職種の根拠法や役割（仕事内容）、就業場所などについて説明できるようにする。 ⑤チームカンファレンスの目的と運営方法が説明でき、司会の機能や発言の際の留意点を列挙できるようにする。				
授業の方法				
講義のみでなく、事例をもとにしたグループディスカッションやロールプレイを組み入れる。また、他職種との連携を考えるために職種調べを分担して発表することで、知識の共有を図る。				
学習の成果（学習成果）				
チームアプローチの意義とチームにおける介護福祉士の役割および関連職種の役割をふまえ、他職種との連携の姿勢を持つことができる。また、チームカンファレンス運営上の要点について説明でき、参加者の一員として適切な態度をとることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業ガイダンス（授業のねらい・評価の方法・演習時の注意など） 介護過程におけるチームアプローチ【講義】			
第2回目	介護過程とケアプラン（介護サービス計画）【講義】			
第3回目	関連職種の役割①【講義と演習】			
第4回目	関連職種の役割②【職種調べ】（職種調べの資料を第5回の授業前日までに提出）			
第5回目	関連職種の役割③【発表】			
第6回目	関連職種の役割④【発表】			

第7回目	関連職種の役割⑤【発表とまとめ】
第8回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携①【グループディスカッション】
第9回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携②【グループディスカッション】
第10回目	事例から考える介護福祉士の役割および関連職種との連携③【発表とまとめ】 (「事例から考える介護福祉士の役割」のレポートを次回提出)
第11回目	チームカンファレンスの目的と運営方法【講義】
第12回目	チームカンファレンスの実際①【講義】
第13回目	チームカンファレンスの実際②【ロールプレイ】
第14回目	チームカンファレンスの実際③【ロールプレイ】
第15回目	チームカンファレンスの実際④【まとめ】 (ロールプレイの振り返り用紙を提出)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。また、グループディスカッションやロールプレイに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。
レポート	30%	S評価のレポートは、①多職種の役割を理解した上で、実習での体験や事例を踏まえ、介護福祉士の役割及び関連職種との連携に関する考えが具体的に記述されていること。②ロールプレイからの学びが具体的であること。
調査報告書	20%	担当した職種について、根拠法や役割などについて調べて発表する。S評価の報告書は内容が正しく、わかりやすくまとめていること、使用した文献や資料を明らかにしていること。(内容については、授業で説明する)
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	30%	以下の視点で評価する。①職種調べ：聞き取りやすく、質問に的確に答えている。②グループディスカッション：内容がわかりやすく、学びが具体的である。③ロールプレイ：十分に準備し、役割に応じた発言をしている。
その他		

教科書と参考図書

教科書：新・介護福祉士養成講座 第9巻『介護過程』 中央法規出版(介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと同じ)

履修上の留意点・ルール

演習科目であり、学生の個人ワークやグループ演習が中心である。積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話や、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。